



## 目次

1

P.01 ごあいさつ／連結決算の概況

2

P.05 業績ハイライト

3

P.07 環境・リサイクル

4

P.09 特集

5

P.10 自社オリジナルブランド商品

6

P.11 店舗案内／沿革

7

P.13 会社概要／株式データ

8

P.14 株主還元方針





代表取締役社長 原島 一誠

## Better Life with Community

地域社会の人々に  
より充実した生活を

ベルクは「Better Life with Community」を  
CIコンセプトに、生鮮食品を中心に  
地域密着型のストアづくりを  
取り組んでまいります。



平素は格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

ここに当社第64期（2023年2月期）の決算報告をお届けし、事業成長を目指す取り組みの状況とその成果についてご説明させていただきます。

### ■ 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、感染症の影響が続く中、行動制限の緩和措置等による各種政策の効果もあり、景気は緩やかに持ち直しの動きをみせました。しかしながら、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり、また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等により、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、世界的なエネルギー価格及び原材料価格等の高騰に加え、為替相場の動向が影響し、食料品の調達価格や販売管理費の上昇等、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、価格訴求及びお客様に支持され信頼される店舗づくりを推進いたしました。

その結果、お客様皆様のおかげで、当連結会計年度の経営成績は、増収・増益を達成することができました。

## ■ 販売政策について

販売政策におきましては、各種感染拡大の防止策を講じながら通常営業を継続し、商品供給に努め、地域のライフラインとしての役割を果たしてまいりました。幅広い層のお客様にご来店いただくために、豪華賞品等が当たる大型キャンペーンの実施や、SNSを利用したおすすめ情報の発信を行いました。また、ネットスーパー「ベルクお届けパック」及び、お客様のレジ待ちを解消しスマートなお買い物ができるサービス「スマベルク」は導入店舗を順次拡大し、利便性向上を図ってまいりました。

## ■ 商品政策について

商品政策におきましては、商品に特化したイメージチラシでのこだわり商品の訴求を行い、また、自社ブランド「くらしにベルク kurabelc (クラベルク)」の取扱いをさらに拡大し、3月には生誕4周年記念のキャンペーンも行う等、毎日の暮らしにうれしい商品をお求めやすい価格にて順次発売いたしました。



常に効率化に向けた改善を行ってまいります

## ■ 当社最大の特長

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にLSP（作業割当システム）の定着化、適正な人員配置、省力器具の活用による効率的なチェーンオペレーションを推進いたしました。

## ■ 店舗投資について

店舗投資におきましては、7店舗を、2022年4月に千葉県我孫子市に「フォルテ我孫子店」、8月に神奈川県横浜市に「フォルテ横浜川和町店」、10月に埼玉県春日部市に「春日部梅田店」、11月に東京都東大和市に「東大和立野店」、群馬県前橋市に「前橋総社町店」、2023年1月に千葉県浦安市に「フォルテ新浦安店」、2月に神奈川県厚木市に「厚木船子店」を新規出店いたしました。また、既存店6店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買い物環境を提供するための設備の更新を行いました。なお、2023年2月末現在の店舗数は133店舗となりました。



地域とともにSDGsに取り組んでまいります

## ■ 自社物流センターについて

物流体制におきましては、自社物流の強みを活かし、商品を産地やメーカーから大量一括調達することにより配送効率を高め、商品の価格強化、品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

## ■ 連結子会社について

一方、連結子会社である「株式会社ホームデリカ」では、2022年1月に稼働開始した新第一工場の製造能力が安定して増強できた結果、売上高及び経常利益は当初計画を上回る結果となりました。今後も第二工場とともに、より一層おいしい商品の供給体制を構築し、店舗の効率化を図ってまいります。また、「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給と開発、また、店舗の清掃業務等、当社グループのサービス業務の強化に取り組みました。



おいしいお水の無料サービス

## ■ お客様にやさしいお店づくり

ベルクの各店舗では、お客様の健康な食生活をサポートする安全で身体にやさしい良水オアシというお水の無料サービスをしています。

また、お買い上げいただいた商品をご自宅まで配送する、お買物宅配サービス「ベルクイック」を全店で展開。一部店舗においては、店頭「宅配ロッカー」を設置し、便利で快適なお店づくりを行っています。

## ■ 社会貢献活動

普段のお買物に不自由されているお客様の課題を解決することも、私たちの社会的責任のひとつ。ベルクでは、高齢者等に対する買物支援、見守り支援を行うことを目的とした移動スーパーが毎週2回、お客様のご自宅一軒一軒を回り、ベルクの安心・安全な商品をお届けしております。

また、埼玉県内の新型コロナの自宅療養者へ、配食サービスを行う自治体に対する商品供給を行いました。



ベルクの商品をより手軽にお客様の元へ



## ■ 増収・増益を達成

これらの結果、当連結会計年度における経営成績は、営業収益（売上高及び営業収入）が310,826百万円（前年度300,268百万円）、営業利益が14,018百万円（前年度13,072百万円）、経常利益が14,297百万円（前年比103.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益が9,614百万円（前年比104.6%）となりました。

## ■ 次期の見通し

第65期（2024年2月期）通期における当社グループの業績見通しは、営業収益（売上高及び営業収入）327,381百万円（前年比105.3%）、営業利益13,677百万円（前年比97.6%）、経常利益13,808百万円（前年比96.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益9,231百万円（前年比96.0%）と想定しております。



お客様の目線に立ったサービスを提供してまいります

## ■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは中長期の経営戦略として、標準化した店舗フォーマットでの計画的出店を行い、新たな商圏開発に取り組むとともに、あわせて、既存店の改装等による店舗活性化や店舗状況に合わせた諸施策を実施し、一層のドミナント化とお客様に支持される店舗展開を行います。

また、高収益の企業体質を維持、継続していくために、効率経営によりさらなるローコストオペレーションに取り組んでまいります。



統一化された店内

# 業績ハイライト



## ▶ 営業収益

3,108 億円



## ▶ 経常利益

142 億円



## ▶ 総資産

1,693 億円



## ▶ 純資産

913 億円



### 売上高



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



※2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。比較対象となる会計処理方法が異なるため、営業収益は前年差で記載しております。

# 創業以来のベルク売上高・店舗数の推移

■ 売上高  
● 店舗数

2009年2月  
東京証券取引所  
市場第一部銘柄に指定



2015年2月  
埼玉県鶴ヶ島市に  
本社を新設・移転



2017年4月  
千葉県千葉市に100店舗目である  
フォルテ蘇我店を出店



1959年5月  
埼玉県秩父市に  
株式会社主婦の店秩父店を設立



## 1株当たり当期純利益



## 総資産／純資産



## ROA (総資産経常利益率)



# 環境・リサイクル

## SDGs達成に向けたリサイクル活動



### 環境活動に対する考え方

ベルクは「Better Life with Community（地域社会の人々により充実した生活を）」を経営理念に、様々な環境問題にも積極的に取り組み、お客様に、また地球環境にとっても、快適で便利なやさしい店舗づくりに努めてまいります。

ベルクは全従業員が、身近なことから着実に、そして確実に実践することにより、私たちの活動が地域のお客様一人ひとりのご理解・ご支援を賜ることで、より大きなやさしい環境づくりに役立ちたいと願っています。



### リサイクル活動(店頭回収)

「ご家庭から出される資源を再利用することで、新しい資源とする」。ベルクでは資源の有効活用を通じ、環境保全を推進します。各店舗にリサイクルステーションを設置し、資源の店頭回収を実施し、地域のお客様にご協力をお願いしています。

回収した各品目はベルクリサイクルセンターを活用したり、食品トレーの一部はトレーメーカーにて原料として再利用する「循環型リサイクル」を行っています。

牛乳パック 398トン	アルミ缶 1,247トン	スチール缶 400トン
ペットボトル 3,092トン	空きビン 4,099トン	食品トレー 111トン

#### 回収品目

### ごみを減らす取り組み

ベルクでは、生ごみを微生物の力で水と炭酸ガスに分解する設備の導入を一部店舗で導入いたしました。今後は他店舗でも導入し、地球にやさしい店舗運営を進めてまいります。



## リサイクル活動(店舗での回収)

ベルクでは、店舗の営業の中で発生するゴミの分別・リサイクルに取り組んでいます。

店舗にて発生する様々なゴミは、細かく分別することによって、新しい資源として再活用できます。ダンボールは新しいダンボールへ、紙ゴミは再生紙などへリサイクルしています。

また、貴重な食料資源を有効に活用するために、「食料資源のリサイクル」にも取り組んでいます。分別した食品残渣、食用廃油なども、専門業者にて肥料化や飼料化などを行っています。この肥料や飼料が新たな食料資源を生み出しています。また、一部店舗では、専門業者にて生ゴミからバイオガスを生み出す取り組みを行っています。このガスは製鉄所に燃料ガスとして供給され、化石燃料の使用削減に貢献しています。

ベルクは食品を扱う企業として、販売から廃棄にいたるまで、責任を持って取り組んでまいります。

### 回収品目

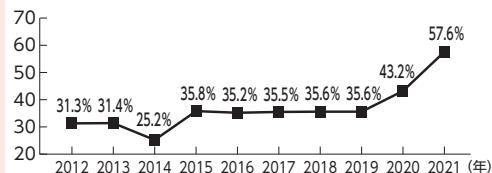


回収した食品廃棄物を発酵・分解



肥料や飼料へと生まれ変わります

### 食品リサイクル率の推移



## 食育活動

### 食育出張授業

ベルクでは「食」の大切さや楽しさを子どもたちに伝え、「身体」と「心」の健康づくりを行ってほしい思いから、食育活動を推進しております。



### オンライン店内見学

ベルクのことをより知ってもらうために、インターネットを利用して、子どもたちにオンラインでの店内見学も行っております。



64期の食育出張授業は、前年に比べ2倍以上  
オンライン店内見学は3倍以上多く実施いたしました。

## 丸和運輸との災害時の相互支援に関する協定の締結

ベルクでは災害の発生時でも業務を円滑に遂行できるよう、丸和運輸機関と相互支援協定を締結しました。地域社会の皆様のために、また社会のライフラインとしての責務を全うできるように、他企業と協業して企業リスクに向き合ってまいります。



締結日：2023年1月24日（火）

場 所：株式会社丸和運輸機関 東京本部

協定締結式参加者：

株式会社ベルク 専務取締役 原島 陽一郎

同 代表取締役社長 原島 一誠

株式会社丸和運輸機関 代表取締役社長 和佐見 勝氏

同 取締役執行役員 3PL 物流統括本部長 兼 BCP 物流

支援企画部長 小倉 友紀氏

※参加者名は写真左から表記しております。

上記の内容は以下HPでもご覧いただけます。

[https://new.belc.jp/sites/default/files/2023-01/20230125\\_newsrelease.pdf](https://new.belc.jp/sites/default/files/2023-01/20230125_newsrelease.pdf)



# 自社オリジナルブランド商品



## くらしにベルク kurabelc

ベルクでは日々変化するお客様のニーズに対応するため、オリジナルブランド商品（くらしにベルク-kurabelc-）の拡充に力を注いでおります。

### おすすめ新商品紹介



様々な料理に使い、簡単便利な冷凍食品です。



ありそうで無かったオリジナル商品。お子様から大人まで誰でも楽しめる商品です。



ふわふわのスポンジとたっぷりのホイップクリームがこだわりの商品です。



天然鮭を使用した美味しいほぐし身です。



大容量オートミールをお買い求めやすい価格で提供するため、直輸入しました。

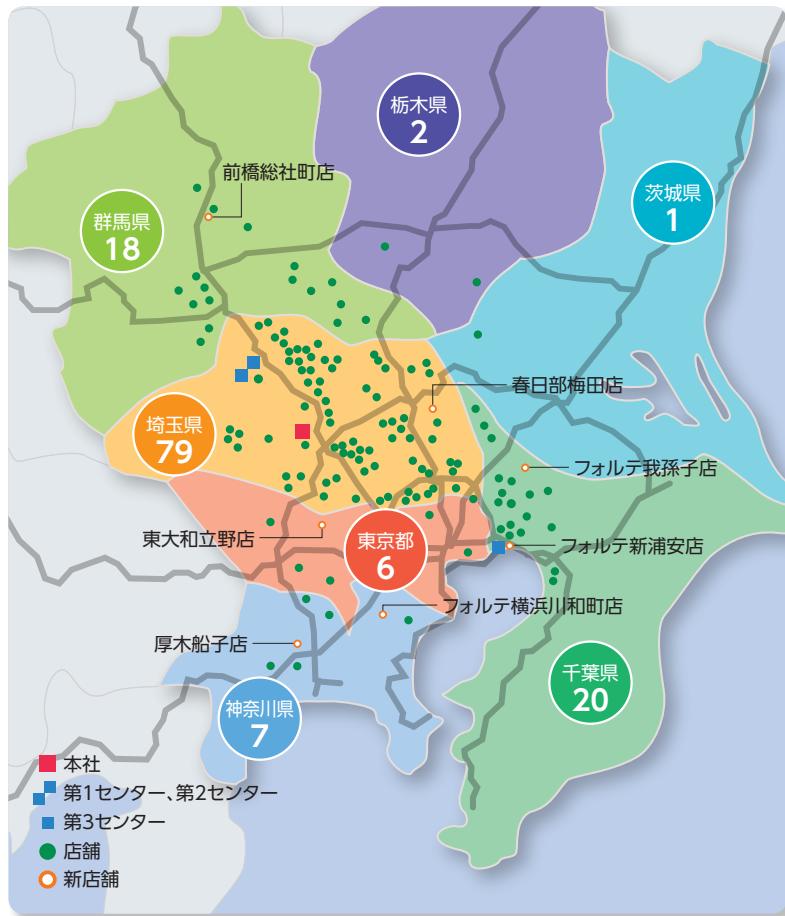


インストア製造で無駄な添加物はなく、非常に滑らかな食感のプリンです。※一部店舗のみのお取扱いです。

# 店舗案内／沿革



2023年2月28日現在



## 県別店舗数

2023年2月28日現在

埼玉県	79 店舗
千葉県	20 店舗
群馬県	18 店舗
東京都	6 店舗

神奈川県	7 店舗
栃木県	2 店舗
茨城県	1 店舗
合計	133 店舗

## ■ 新店舗



フォルテ我孫子店



フォルテ横浜川和町店



春日部梅田店



東大和立野店



前橋総社町店

2022年  
11月30日  
開店



フォルテ新浦安店

2023年  
1月25日  
開店



厚木船子店

2023年  
2月22日  
開店

## 沿革

1959年 5月	埼玉県秩父市に株式会社主婦の店秩父店を設立
1959年 6月	埼玉県秩父市に宮側店出店（第1号店）
1983年 3月	営業地域の拡大等に対応し、商号を株式会社主婦の店ベルクに変更
1990年11月	埼玉県熊谷市に日配センター開設
1991年11月	埼玉県熊谷市に生鮮センター開設
1992年 3月	企業イメージの向上のため商号を株式会社ベルクに変更
1992年 6月	埼玉県熊谷市にグロスリーセンター開設
1994年 6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
1994年 7月	埼玉県寄居町に惣菜センター開設
1996年 2月	埼玉県寄居町に本部事務所新設、移転
1998年 3月	株式会社ホームデリカ（100%出資、現・連結子会社）を設立
1999年 1月	埼玉県熊谷市の日配センター、生鮮センター、グロスリーセンターを統合して、埼玉県寄居町に物流センター開設
2003年 6月	株式会社ジョイテック（100%出資、現・連結子会社）を設立
2004年 2月	埼玉県寄居町にリサイクルセンターを開設
2004年12月	株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場
2006年 7月	イオン株式会社と業務・資本提携
<b>2007年 4月</b>	<b>50店舗達成</b>
2008年 2月	東京証券取引所市場第二部に株式上場
2009年 2月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
<b>2010年 2月</b>	<b>年間売上高1,000億円達成</b>
2014年 5月	埼玉県美里町にチルドセンターを開設
2015年 2月	埼玉県鶴ヶ島市に本社を新設・移転
2016年 1月	埼玉県寄居町にトレーニングセンターを開設
<b>2017年 4月</b>	<b>千葉県千葉市にフォルテ蘇我店出店（100店舗目）</b>
<b>2018年 2月</b>	<b>年間売上高2,000億円達成</b>
<b>2019年 5月</b>	<b>創業60周年を迎える</b>
2022年 1月	埼玉県寄居町にホームデリカ新第一工場を開設
2022年 4月	東京証券取引所の市場区分の見直しによりプライム市場に移行
<b>2023年 2月</b>	<b>年間売上高3,000億円達成</b>

# 会社概要／株式データ



2023年2月28日現在

2023年2月28日現在

## ▶ 会社概要

社名	株式会社ベルク
代表者	代表取締役社長 原島 一誠
本社所在地	埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番
資本金	3,912,657千円
従業員数	連結／8,881名(正社員2,440名 パートタイマー(8h換算)6,441名) 単体／8,516名(正社員2,393名 パートタイマー(8h換算)6,123名)
事業内容	食品スーパーマーケット・チェーン経営
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ホームデリカ 本社・第一工場 埼玉県大里郡寄居町大字用土5449-1 第二工場 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣1026</li> <li>株式会社ジョイテック 本社 埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番</li> </ul>

2023年5月25日現在

## ▶ 役員

取締役会長	原島 保	取締役	松下 香織
代表取締役社長	原島 一誠	取締役	井澤 京子
専務取締役	上田 英雄	取締役	梅國 智子
専務取締役	原島 陽一郎	取締役	齊藤 修一
常務取締役	中村 光宏	取締役	大西 千晶
常務取締役	大杉 佳弘	常勤監査役	杉村 茂
取締役	上田 寛治	監査役	徳永 眞澄
取締役	原田 裕幸	監査役	野村 文雄
取締役	久木 邦彦		

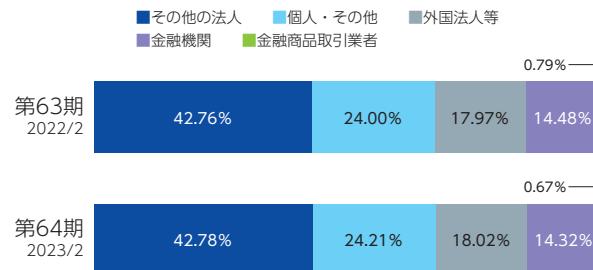
## ▶ 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	20,867,800株
株主数	9,144名

## ▶ 大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
イオン株式会社	3,131,000	15.00
株式会社IH	1,864,400	8.93
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	1,638,381	7.85
株式会社TH	1,401,400	6.72
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,202,100	5.76
有限会社ヘイセイカンパニー	1,083,000	5.19
株式会社しまむら	877,900	4.21
株式会社武蔵野銀行	677,200	3.25
ベルク社員持株会	542,161	2.60
原島 保	499,020	2.39

## ▶ 所有者別株式数比率



## 株主還元方針

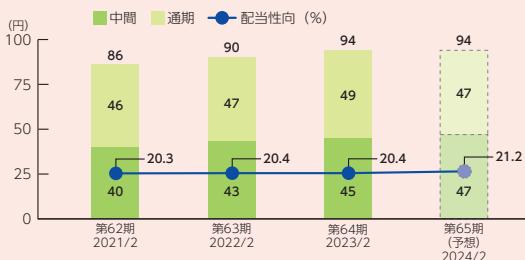
当社は、株主に対する利益還元につきましては、経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、安定配当の継続を基本方針としております。あわせて、財務体質の強化と業容の拡大に備え、また店舗の新設及び改装等の設備投資や有利子負債の圧縮等に活用するための内部留保の充実等も勘案して決定する方針であります。

これにより、企業競争力の強化に取り組み、企業価値の増大を通じ、株主の皆様への利益還元の充実を図ってまいります。

当連結会計年度におきましては、中間配当として普通配当1株当たり45円、期末配当として普通配当49円の配当を実施いたしました。これにより、年間配当金は1株当たり94円となり、配当性向は20.4%になります。

また、次期の配当金は、1株当たり中間配当47円、期末配当47円の年間94円を予定しております。

### ▶ 配当金実施推移



## 株主優待制度

株主の皆様への日頃のご支援、ご協力への感謝のしるしとして、毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主様に対し、株主優待制度を実施しております。

### 1. 対象者及び対象基準

株主優待のご案内 (贈呈基準及び内容)			
所有株式数	永温熟成魚沼産こしひかり	当社商品券	JCBギフトカード
100株以上の株主様	2kg	または 1千円 (千円券×1枚)	または 1千円 (千円券×1枚)
500株以上の株主様	3kg	または 2千円 (千円券×2枚)	または 2千円 (千円券×2枚)
1,000株以上の株主様	5kg	または 3千円 (千円券×3枚)	または 3千円 (千円券×3枚)
3,000株以上の株主様	8kg	または 4千円 (千円券×4枚)	または 4千円 (千円券×4枚)
5,000株以上の株主様	10kg	または 5千円 (千円券×5枚)	または 5千円 (千円券×5枚)

### 2. 贈呈の時期及び方法

5月に郵送される株主優待のご案内の中から、左記3品のいずれかをご選択いただき、ご希望のものを年1回6月下旬頃、お送りいたします。

(「株主様ご優待申込書」のご返送がない場合は、「JCBギフトカード」をお送りいたします。)

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月中

基準日

期末配当金 2月末日

中間配当金 8月31日

株主名簿管理人

特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1

電話お問合せ (0120) 232-711 (フリーダイヤル)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

1単元の株式数 100株

証券コード番号 9974

公告方法 電子公告

<https://www.belc.jp/company/stock/notice>

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

店舗・チラシ情報やIR情報など、当社最新の情報をご確認いただけます。ぜひご覧ください。

ベルク

検索

最新の決算情報は  
こちらから



企業・IR情報ページ  
QRコード

<https://www.belc.jp/>

## ベルクアプリのご案内

いつものお買い物も、もっと楽しく便利に♪  
ポイントがたまる、チラシもみられる♪

- ①お手元のスマートフォンでアプリを検索
- ②QRコードを読み込む、もしくは、ベルクHPよりアプリのご案内ページへ
- ③アプリをダウンロード

iPhone 入手をタップ

Android インストールをタップ



アプリダウンロード  
QRコード

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



株式会社 ベルク

〒350-2282 埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番  
TEL. 049-287-0111 お問合せ先：業務サポート部



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。